

シャカカチ RISE PROJECT オンライン説明会

2025年5月21日

株式会社 三井住友銀行
社会的価値創造推進部



SUMITOMO MITSUI
BANKING CORPORATION



みやち しゅんいち
宮地 俊一

NPO法人ETIC.
(パートナー団体)

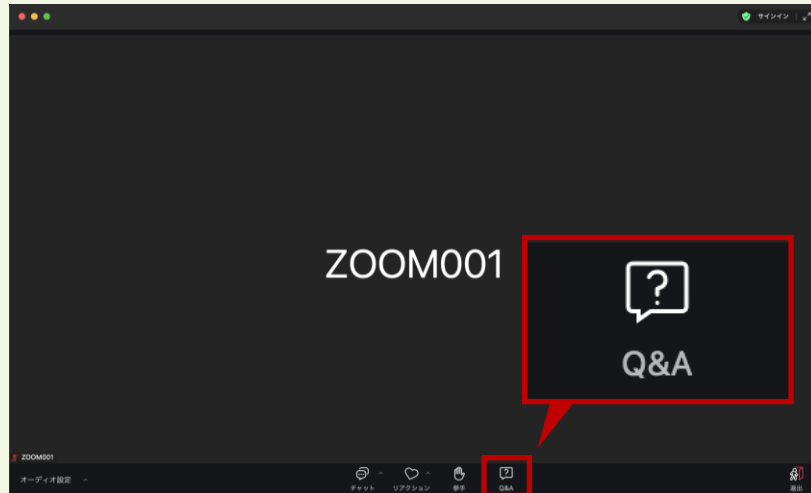
■ 本日の説明会について

目的	● 本プログラムの趣旨や特徴、具体的な支援内容、応募方法等へのご理解を深めていただく ● 質疑応答を通じて、皆さまの疑問解消の一助とする
アジェンダ	<u>18:00 START</u> ○ プロジェクトの趣旨説明／アンバサダーご紹介 ○ アンバサダーからのメッセージ ○ プログラム説明 ○ 質疑応答（30分） <u>19:00 END</u> 応募にあたって不安なこと、 わからないことなど、どんな質問でも お待ちしております！

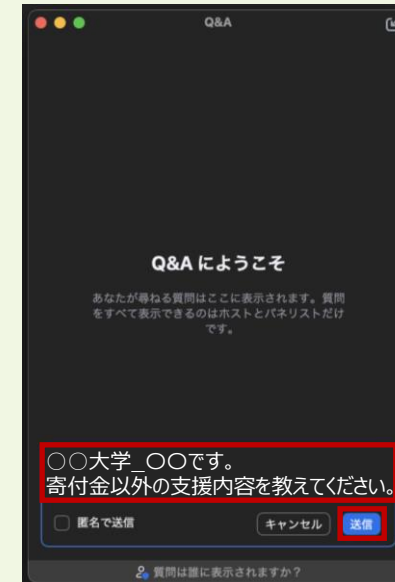
Zoom操作

- 質問はZoomのQ&A機能を活用して随時投稿してください
- 質疑応答の時間にまとめて回答します

画面下部の**Q&Aアイコン**をクリック！



Q&A画面の下の枠に
所属名_氏名を記載した上で
質問を入力し、「**送信**」をクリック！



趣旨説明



SUMITOMO MITSUI
BANKING CORPORATION



たかいち くにひと
高市 邦仁

**三井住友銀行
社会的価値創造推進部長**

■ SMBCグループについて

三井住友銀行 (SMBC)



三井住友カード



SMBCコンシューマー ファイナンス



SMBC日興証券



三井住友 ファイナンス&リース



SMBC信託銀行



三井住友DS アセットマネジメント



日本総合研究所



■ SMBCグループ現中期経営計画の基本方針

Plan for **Fulfilled Growth**

VISION

最高の信頼を通じて、お客さま・社会とともに発展する
グローバルソリューションプロバイダー

質の伴った成長

社会的価値
の創造

「幸せな成長」への貢献

経済的価値
の追求

Transformation &
Growth

経営基盤の
格段の強化

Quality builds
Trust

■ 5つの重点課題

- 新たな重点課題（マテリアリティ）を設定



■ SMBCグループによる新しい形での大学連携

京都大学

2024／6月

産学連携拠点 「SMBC京大 スタジオ」

社会課題に関する
共同研究成果を社会実装へ

筑波大学

2024／8月

大学の経営変革を 金融グループ として支援

地域にも貢献する
連携モデルを大学・金融
機関で構築し、全国に展開

東京大学

2025／4月

大学の持つ 多様なアセットの 社会還元・価値化

資金や人的リソースを
双方で拠出し、大学の
社会還元をリード

（参考）大学スポーツ応援プログラム（シャカカチ BOON BOON PROJECT）

- 大学運動部の活動を支援し、競技力向上と挑戦の機会拡大、学問・研究への集中、地域貢献等に取り組む（<https://www.smfg.co.jp/sustainability/sk-collegesports/>）

頑張る学生に 大学スポーツ応援プログラム 三井住友銀行が100万円を支援

シャカカチ
BOON BOON PROJECT

たくさんのご応募ありがとうございました。
採択した団体にのみ12月下旬頃ご連絡させていただきました。

大学スポーツ応援プログラム

採択団体が決定！
選考委員会レポートは
こちらから

シャカカチ
社会的価値の創造

■ 本邦の大学研究を取り巻く課題認識

報酬水準が低い・ 雇用環境が不安定

- 40歳未満の国立大学教員の内、**6割超が任期付き**
- 大学教授の平均給与／55歳
(日本) 12百万円
(米国) 40百万円
→ 海外流出の加速

修士課程から博士課程への 進学率低下

- **進学率は約半減**
(H12) 16.7%
(H30) 9.3%

研究予算が低位

- 日本の研究費の7割が民間、
2割が大学等の研究機関
- 1人当たりの研究費
(企業) 35百万円
(大学) 12百万円
- 大学の**運営費交付金は
減少傾向**

日本の研究力の国際的地位は10年で大きく低下

【論文数】 3位 (2011年) → 5位 (2024年)

【トップ10論文数※】 4位 (2011年) → 13位 (2024年) ※ 被引用数が各分野の上位10%に入る論文

社会課題解決の共通項

「教育・研究」



研究の力で社会を変える

■ 本プログラムの目的

日本の研究者の 競争力強化

研究支援とその社会実装の
加速を通じた、日本の研究者
の競争力強化

社会課題の解決の加速

新たな技術・理論の発展を通じ
た、SMBCグループの定める
5つの重点課題※解決の加速

※「環境」「DE&I・人権」
「貧困・格差」「少子高齢化」
「日本の再成長」

■ 本プログラムの特徴

Point 1

社会的インパクト を重視



社会変革に繋がる
大きなインパクトを生み出し得る
挑戦的な研究を支援

Point 2

金銭・非金銭的 支援の両面サポート



金銭的支援に加え、
研究者の状況に応じた
SMBCグループならではの
支援も実施

Point 3

柔軟な資金使途



研究費のみならず、
生活費・事業化準備資金等、
柔軟に資金を利用可能

■ 本プログラムの特徴 ～パートナー団体～

民間との初の提携！

(独) 日本学術振興会

• 団体概要

学術研究の助成、研究者の養成の資金支給、国際交流の促進、学術の応用に関する研究等を行う

• 本プログラムでの役割

学術的観点での審査意見書の作成等



(株) リバネス

• 団体概要

教育・人材・研究・創業の4本柱で科学技術の発展と地球貢献を実現する研究者集団

• 本プログラムでの役割

社会実装に向けた事業化支援や審査業務等



NPO法人ETIC.

• 団体概要

起業家育成や共創コーディネーターなど、社会の未来をつくるアントレプレナーシップを育成

• 本プログラムでの役割

本プログラムの企画・運営・審査業務等



アンバサダー紹介



SUMITOMO MITSUI
BANKING CORPORATION

■ アンバサダー紹介



山中 伸弥 先生

公益財団法人京都大学
iPS細胞研究財団 理事長
京都大学iPS細胞研究所
名誉所長・教授



小林 傳司 先生

大阪大学 名誉教授

募集説明



SUMITOMO MITSUI
BANKING CORPORATION

社会実装・産業化部門

社会実装・産業化を
目指す研究（応用研究）



基礎研究部門

ブレイクスルーに繋がる
基礎研究



■ 対象とする研究像

- 社会変革をもたらす大きなインパクトを生み出し得る挑戦的な研究
- SMBCグループの定める重点課題の解決に資する研究

■ 例えば…

新規研究分野の
地平を開拓し
爆発的に広げるような
ブレイクスルーに繋がる
基礎研究

学術分野へのインパクト

新しい技術・理論の発展や
様々なステークホルダーの
連携により大きな社会的
インパクトを目指す
社会実装研究

社会へのインパクト

新規産業創生を目指す
ディープテック

経済へのインパクト

■ 対象とする人物像

1

意欲・情熱

研究への情熱と社会課題解決への
意欲・ビジョン

2

やり抜く力・実行力

研究生活における困難への
課題解決力・実行力

3

チャレンジ精神

研究へ前向きに取組み、
未知の世界を切り開く挑戦心や行動力

4

支援の必要な方

支援を必要とし、支援を活用できる
環境や展望をお持ちの方

**キャリアチェンジの局面にある方や民間企業との連携を
強化したい方のご応募もお待ちしています！**

■ 支援内容①（資金サポート）

金額	年間最大500万円、4年間最大2,000万円  研究費だけでなく、生活費や海外留学に係る費用など幅広い用途に利用可能
支援期間	原則4年間（2026年4月1日～2030年3月31日予定）  妊娠・出産・介護等のライフイベントによる研究中断時の支援一時停止や、再開後の期間延長も考慮

■ 支援内容②（非資金的サポート）

**SMBCグループによる
伴走支援、事業化支援、金融経済教育等
個々の課題に応じて提供予定**

※三井住友銀行、NPO法人ETIC.、株式会社リバネスとの連携なども展望

■ 応募資格（抜粋）

原則日本国内に居住している 大学等に所属する研究者	● 応募時点・支援期間中の所属機関は、原則として日本国内の機関であることを要すが、研究計画に海外出張・留学を含めることは可能 ● 民間の研究機関に所属する研究者は対象外
博士課程在籍者 または博士号取得者	● 他団体等による研究助成プログラムとの重複応募も可（当該プログラムで重複応募が禁止されている場合を除く）
性別、学歴、国籍、年齢不問	● 若手研究者の積極的なご応募をお待ちしています

その他、詳細は応募規約をご覧ください

今後のスケジュール



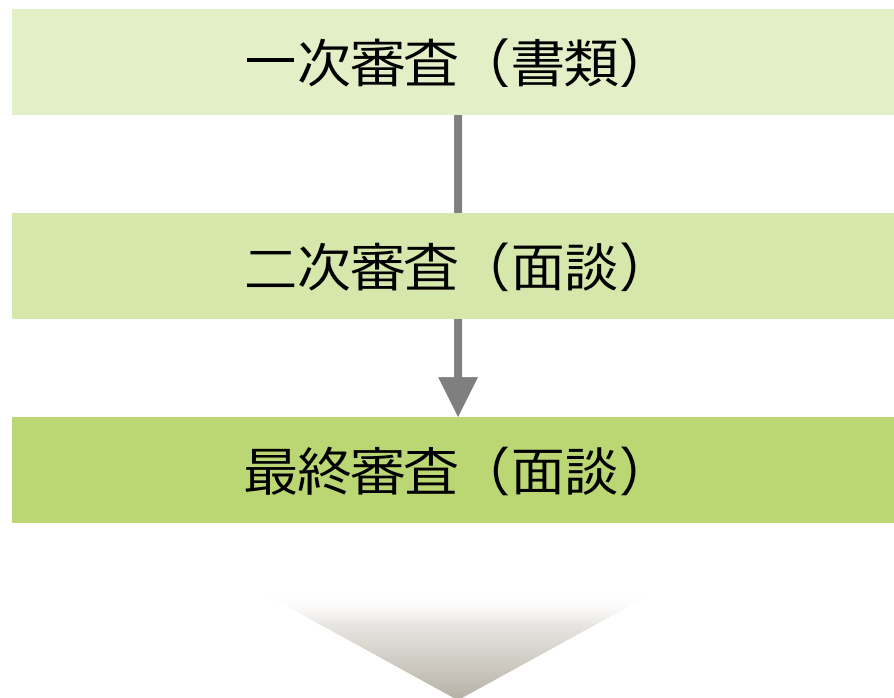
- 応募者等に関する基礎情報
- 研究概要
- 申請書 ←
- 推薦状
- 研究活動実績

多岐にわたる領域の研究テーマについて
審査するため、申請書では、
**研究がもたらしうる社会的インパクトや、
研究の面白さ、研究への熱意等の記載項目**
についても、他助成申請時よりみかみ砕いて
わかりやすくご説明をお願いします。

詳細は応募フォームをご確認ください

■ 審査概要

■ 審査フロー



採択予定人数 **10名程度**

■ 審査体制

- 複数の外部有識者を含む選考委員会を設置
- 学術目線、事業者目線での評価を合わせて総合的に判断



■ 審査基準

- 研究内容の社会的インパクトが第一の審査基準
- 加えて、研究内容の新規性や人物面等を踏まえ、以下項目に基づき総合的に判断

■ 審査項目

1

研究内容に関する基準

- 社会的インパクトの大きさおよび貢献度
- 研究の実現性
- 研究の新規性

2

研究者個人に関する基準

- 意欲・情熱
- やり抜く力・実行力
- チャレンジ精神

3

支援の必要性および支援の活用展望

応募方法

- 特設サイト内の応募フォームから応募をお願いします

2025.04.30 エントリー受付を開始しました プロジェクト概要 フェーズについて 選考フロー FAQ お問い合わせ エントリーについて >

大学研究者支援プログラム

シャカカチ

RISE PROJECT

INNOVATION FOR THE FUTURE

年間 支援金 500万円 × 最大 4回

1 エントリー前に応募規約をよくお読みください

2 応募規約

3 ☐ 応募規約に同意する

4 エントリーする

申し込み用サイトに遷移します。

- ① 「応募規約」をクリック
- ② 「応募規約」を確認
- ③ 「応募規約に同意する」へチェック
- ④ 「エントリーする」をクリック

シャカカチ RISE PROJECT 応募規約

主催：株式会社三井住友銀行
運営協力：NPO法人ETIC（エディック）、株式会社リバネス、独立行政法人日本学術振興会

株式会社三井住友銀行（以下「三井住友銀行」といいます。）が実施する大学研究者支援プログラム「シャカカチ RISE PROJECT」（以下「本プログラム」といいます。）にご応募される研究者の方（以下「応募者」といいます。）は、以下の注意事項、禁止事項、免責事項を含む規約（以下「本規約」といいます。）をよくお読みになり、ご同意いただいたうえで、ご応募ください。ご応募いただいた場合には、本規約にご同意いただいたものとみなします。

1. はじめに

- SMBCグループでは、これまで、様々な大学との連携により、社会課題の解決や社会の持続的成長を実現するうえでの基盤ともいえる大学の教育・研究分野に対する取組を進めてきました。
- 足元では、社会・経済のグローバル化の反動、欧米を中心としたインフレや金利上昇等、これまで長く続いてきた経済・金融環境に大きな変化が生じています。また、あらゆる分野においてデジタル化がますます加速し、企業活動や個人の消費行動が大きく変容しています。さらに、世界が直面する社会課題が多様化・深刻化しており、これに合わせて、投資家や顧客、従業員等のステークホルダーの価値観も着実に変化し、企業に対しては社会課題への具体的な貢献の要請が高まっています。これらの環境・ステークホルダーの変化等を踏まえ、SMBCグループでは、経営の基本方針の一つに「社会的価値の創造」を掲げ、社会課題を起点に事業を行い、お客さまや社会の中長期的な成長に資する付加価値を提供することに取り組んでいます。
- 一方で、国内の大学研究を取り巻く状況としては、研究者の報酬水準の低下や雇用環境の不安定さ等を背景に、博士課程への進学率は年々低下しており、研究費の減少も相まって日本の研究力の国際的地位はここ10年で低下しています。研究者が、将来への不安を感じることなく、自身の知的好奇心に基づき探求し、中長期的な時間軸で研究に集中できる環境を作ること、日本の研究力向上や人類の知の進歩に繋がるだけではなく、社会におけるイノベーションの創出、社会課題の解決にも繋がると考えております。
- 本プログラムでは、社会課題の解決に資する研究に取り組む大学等の研究機関に所属する研究者を対象に、原則1名あたり年間最大500万円、4年間最大2,000万円の支援を実施します。また、本プログラムの対象となった研究者の方には、金銭的な支援に加え、研究の事業化支援

質疑応答



SUMITOMO MITSUI
BANKING CORPORATION

■ 事前に寄せられたご質問①

Q

どの研究機関に所属する研究者が応募できますか？

A

以下のいずれかの研究機関に所属されている研究者の方は、応募いただけます。

- ①大学及び大学共同利用機関
- ②文部科学省の施設等機関のうち学術研究を行うもの
- ③高等専門学校
- ④文部科学大臣が指定する機関

以下のHPに対象機関のリストがございますので、ご参照ください。

～「研究機関」としての要件と指定・変更の手続き～

https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/1286868.htm

■ 事前に寄せられたご質問②

Q

応募時点で海外に居住していますが、応募資格はありますか？

A

支援開始前に日本への帰任を予定されている方は、応募いただけます。
2026年4月以降の所属先が2025年10月頃までに決定していることが望ましいですが、
ご事情に応じて個別相談可能です。

大変申し訳ございませんが、
支援開始時点において、応募時点から継続して海外に居住されている方は、
応募いただけません。

■ 事前に寄せられたご質問③

Q

応募時点では日本に居住していますが、支援期間の開始前に留学を予定しています。
応募資格はありますか？

A

応募いただけます。

支援開始後に渡航する留学と同様に取り扱いますが、
支援開始後は、毎年ご提出いただく研究計画等に基づき支援の継続可否を判断いたします。

■ 事前に寄せられたご質問④

Q

支援金は何に使えますか？

A

主に応募者の生活費や研究費への支出、起業を志す応募者の場合には、事業化準備のための支出を想定しています。

それ以外の用途をご希望の場合、

申請書の資金計画欄にご記載いただければ都度判断します。

尚、以下の用途への資金利用は禁止いたします。

- ・ 反社会的勢力等への利益の供与
- ・ 公序良俗に反する行為、またはその恐れのある行為への資金提供
- ・ その他、主催者が本プログラムの趣旨に沿わない、不適切であると判断する行為への資金提供

■ 事前に寄せられたご質問⑤

Q

「シャカカチ RISE PROJECT」において、最も注目している社会課題はどのような領域のものですか？

A

SMBCグループとして主体的に取り組むべき重点課題（マテリアリティ）として定める

- ・ 「環境」
- ・ 「DE&I・人権」
- ・ 「貧困・格差」
- ・ 「少子高齢化」
- ・ 「日本の再成長」

の5つを最も重視しています。

応募時は、ご自身の研究がどの重点課題に該当するかを選択いただきます。

■ 今後開催するセミナー

事業創出セミナー

日時	6月12日（木） 14:00～17:00
場所	三井住友銀行 東館（大手町）
形式	対面／Zoom（ハイブリッド開催）
参加方法	特設サイトに記載 ※5/22（木） 16:30頃、情報公開予定

- ✓ 自身の研究成果を活用してスタートアップを起業した研究者をお招きし、研究の社会実装に向けた重要な視点と最初のステップの考え方をお伝えします

金融経済教育セミナー

形式	特設サイトへの動画掲載
掲載日時	6月18日（水） 16:00予定
講師	SMBC日興証券 経営企画部 マネーライフデザイン室

- ✓ 年金保険の現状や自助努力による資産形成、iDeCoとNISA、金利のある世界における投資のリスクとリターンについて解説

∴ 皆さまからのご応募をお待ちしております！ ∴

ご質問はこちらへ

シャカチ RISE PROJECTお問い合わせ事務局

✉ support@smfg-academic-research.com